

6年生の春はやがてでないかもしれないけど、「合格したい」という思いがあれば春からでもがんばれたと思う。

最後の2週間な、と勉強したら初日に合格したから、なとした事で人間と変われるな~と思った。

結局は本人のやる気だいたいなので、親はあんまり子供の感情に介入しない方がいいと思った。

クリウスに入ったことで勉強の理解度が上がったと思う。

夏~秋の間に目標を見失うことがあったので、常に小さい課題をつくらせて勉強するべきだと思った。

周りの友達などと比べてしまってモチベーションが下がってしまったりしたので、自分の事だけに集中するようになった冬頃からはじめた。とにかく、9月からがんばればどんなに難しい学校でも合格できるからがんばってほしい。

ぼくがエリウスに入ったのは友達に連れてこられたか
らです。そのときにエリウスで「自習」たりして勉強
が進んだが、入ったのを決めました。人試までの勉強
としては、Xエリ-缶ツクが「は」らるので、その入試
までに3周くらいすると社会と理科は「めん」でし
ます。志望校はあせらぬ、夏期講習くらい
に「決めれば」いいと思しはる。入試を通過して
得られたこととしては「集中力」が増えたことか
大人との付き合い方が「おたたり」忍たいた方が
増えました。友達と話すのも増えたし、
いいことが「しらほ」いでした。入試は
算数が「できれば」ほとん「どう」ります。算数
の教材を何周もやることか「大七」かだ
「思」います。国語は最低でも「語句」を6割
「とれば」いいと思しはる。最後に
指導者のみゆさんへ、6年生の夏期講習
からという短い期間分た「れど」、一緒に
勉強していただき、ありがとうございました。

私は元々、算数の図形問題が苦手で、なかなか解けず、算数に対して苦手意識を持っていました。問題が解けないと自信をなくし、不安になることもありました。しかし、ユリウスに入塾して先生に丁寧に教えていただくうちに、少しずつ解き方がわかるようになり、算数がだんだん好きになりました。自分一人ではできなかった問題が解けたときの達成感はとてもうれしく、もっと頑張ろうという気持ちにつながりました。自習室にもたくさん通いましたが、時にはさぼってしまい、先生や親に注意されることもありました。それでも先生方は最後まであきらめずに声をかけ続けしてくださり、そのおかげで私も前向きに努力を続けることができました。受験当日はユリウスで教えていただいたことを思い出し、落ち着いて問題に向き合うことができました。そして、志望校の一つである鷗友学園中学校に合格することができ、とてもうれしか。たです。先生方ありがとうございました。

入試会場は静かで、すごく集中した。これまでのテストとは違い、一回では終わらない。2月1日の午前のテストではそこまで自信がなかった。午後は二科目入試。国語と算数。どちらかを落とすだけで勝負負けが決まる。国語の自信があまりなかった。算数はかなり自信があった。その学校は毎年平均点が高いので、少しの失敗も許されない。その日の夜は結果を待ち遠しく思うと同時にきてほしくないような気もした。そして次の日の朝、自分が起きた時、昨日、自分が入試を受け、合格結果が出ていると思うと、どどする。朝は午後の結果しかまだ出ていない。アルバイトで学校名を入力し、合格の結果を見た。その学校は番号形式なので、自分で番号を探した。探している時、番号が「4つぐらいはぼかしている所があった。だぐ不安になる。自分の所の近くまで来る。見た時、うわしかた。合格だった。その後、午前、午後と入試を受け、午前は不合格、2月1日の午前も不合格と悲しかった。しかし、2月2日は違った。合格だったのだ。結果その学校へ入学できた。本当にうわしかった。

ユリウスには苦手な国語の対策をするために入りました。
三年前に兄が牧野先生に教えてもらい、苦手ではなくなると聞いていたので私もお願ひすることになりました。志望校は、これまで続けてきたバレエを受馬券で中絶することなく続けられる大学附属を希望していました。大学附属のいくつかの学校の文化祭を見に行った時に生徒がとても楽しそうにしていた学校を志望校にすることを目指して勉強をがんばりました。私は、6年生の11月までバレエを続けていたので、時間に余裕がなく勉強との両立がとても大変でした。でも、毎朝の勉強は続けて良かったなと思いました。

試馬券の前日は、きん張せず意外と普通に過ごせましたが、試馬券当日は、やっぱりきん張してしまいました。結局、第一志望には届かなかったけど、そこを目指していたから、他の学校で合格をもらえたのだと思います。だから、自分には無理だと最初からあきらめず高い目標も、これまで受馬券する皆さんもがんばってください！
お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

第一志望の学校は、4年生のときに行った文化祭がきっかけです。みんなが楽しんでいて、校風もく「この絶対に通いたい」とその時が思い、ていました。でも、ぼくにとってその学校は少し難しく、特に算数は日能石開の授業についていくのが精一杯だったので、ユリウスに通って、できたけれど分からないままにしようにしました。それでも、秋から冬にかけては本当につらかったです。公開模試の成績が全然上がらなくて「もうダメかも」と何度も自信をなくしました。でも先生や両親に「基礎を固めよう」と言われ、一行題とテキストの基本問題を何度も解きました。1月の入試はとてつもなくきんちゅうしました。でもそこで合格をもらえたことで自信がうまきました。最後の最後まで算数は苦手だったけれど、入試の前日まであきらめずに取り組みました。他の教科も苦手な順に取り組みんで、一点でも多く取れるように準備しました。担当してくれたユリウスの先生は志望校の出身で、最後まで親身になって教えてくれたので本当に感謝しています。あきらめずには「なんとかなります!」ぼくはこの入試を通してそれを学びました。みなさんも目標に向かってがんばってください。

ても自分をやる気にさせてくれました。両親も自分のサポートを全力でしてくれました。2月1日の午前の中学校も午後の中学校も合格をくださったおかげで、2月2日の受験のテストも集中して解くことができました。そして無事受験を終えました。一番行きたい中学校に合格したのは両親や日能研の先生方、コリウスの先生方のおかげで、今でも感謝しています。また、受験では勉強をやる習慣をつけることができたのでこれからその習慣を忘れないで受験という経験を今後に生かしていきたいです。

や文化祭に行くことになり本当に行きたい中学校とはこういう学校なんだと知るようになりました。5年生は受験も近づいてきたので受験する中学校を決め、その中学校に合格するため勉強を今まで以上に気合を入れてやり始めました。6年生になり勉強を効率的にやる方法を見直し、自習室に行き始めました。夏期講習中は中学校に合格するために午前中は自習室で勉強し、午後は授業に参加するという習慣をつけました。後期からは中学校の過去の問題を何回も解きました。受験の1か月前から基礎を学び直し、受験に備えました。受験の前日の会や受験当日の朝の会での先生方の言葉がと

ぼくは、空手が好きで中学生になったら空手が強い学校に行きたいと思い自分から親に受験をしたいと言いました。そして、3年生の終わり頃に日能研に入塾しました。最初は受験をして、いい中学校に行きたいという目標がありましたか、正直受験とはどのようなものかわかりませんでした。また、空手が強い部活があるいい中学校とはつまりどういう中学校なのかを深く考えていませんでした。しかし、学年が上がるごとに受験とはどのようなものなのかを理解できるようになりました。また、中学校の説明会や文化祭に行くことにより本当に行きたい中学校とはどういう学校なんだと知るようになりました。5年生は受験も近づいてきたので受験する中学校を決め、その中学校に合格するために勉強を今まで以上に気合を入れてやり始めました。6年生になり勉強を効率的にやる方法を見直し、自習室に行き始めました。夏期講習中は中学校に合格するために午前中は自習室で勉強し、午後は授業に参加するという習慣をつけました。後期からは中学校の過去の問題を何回も解きました。受験の1か月前から基礎を学び直し、受験に備えました。受験の前日の会や、受験当日の朝の会での先生方の言葉がと

ても自分をやる気にさせてくれました。両親も自分のサポートを全力でしてくれました。2月1日の午前の中学校も午後の中学校も合格をくださったおかげで、2月2日の受験のテストも集中して解くことができました。そして無事受験を終えました。一番行きたい中学校に合格したのは両親や日能研の先生方、ユリウスの先生方のおかげで、今でも感謝しています。また、受験では勉強をやる習慣をつけることができたのでこれからその習慣を忘れないで受験という経験を今後にも生かしていきたいです。

自分に合わせて教えてくちて中からたいたるもあがりうに
あって、受験当日もあがりうはしてませんでした。

受験会場にうんネが、あがりうどをもっていくと、行きが
り帰休けい申あどに食べたので良いと思ひました。

カイロあどを携ていくと、手あどがあたにかたあど、テスト
中も寒い思ひをしてあどをかたので携ていてあどに
と思ひました。

入試の前日はなまものなどを食べない
ようにしたり早くねました。いつもよりね
るのが早か、たからねむりずらから
たからあたたかい物をのみました。
私は、一回あけの入試たから気
らくに楽しく行くことができました。
昼休けいのときはねむくあどるから
あんまり食べないようにしました。

私は6年生にはいつからのテストで、思うように国語の成績があがりませんでした。そこで、不安になり、6年生の3月ごろにユリウスに入塾しました。前期のころは授業でやった文章の間違った問題の見直しと、やっていない文章の問題を解いたりしました。成績は少しのびました。

後期では過去問を解きましたですが、算数の過去問を解いてもなかなか点数をとることができず、11月にユリウスで算数(始めること)にはした。過去問では問題集の解説集も教えてもらい、とらなければいけない問題の中で苦手な分野をまっさら教えてもらいました。そのおかげでなんとか合格者最低点をとることが少しずつできるようになりました。

また、ユリウスの講師の方雑談したり、勉強とは関係のない話をしたことで、気分転換になったし、楽しかったです。今では昔だった国語が好きなお教科になりました。最後まであきらめないことが大切だと思える経験となりました。

算数が本当に苦手だったために、ユリウ入に入りました。
計算を必ず毎日一つずつやることを苦戦しました。なので、
計算をやたら、自分のこぼうひで好きなことをすることで、
逆境を乗り越えました。

社会をやっていた時に勉強法として、絵を見ながら関連
することを読むと覚えやすくなります。

私は五年生の最期らんに、セーラー服が好きだったので
セーラー服があるところに志望しました。

入試が近づいても、私は中々緊張しませんでしたか、第一
志望校の入試の時は、とても緊張して驚きました。

同じ実力の人が集まっているというところが、一番驚きました。
入試の時は緊張しても、あせらず頑張るね。

3年間何度も苦戦したけど、その度に勉強を教
えてくれてありがとうございます。教えてくれたことを
活かして、これからも頑張ります。

（ぼくは、この受験期を経て自分の弱点である科目や知識を見つけることができました。また勉強面以外では体力がつか、大勢の前でも物怖しないようなメンタル面でも受験する前の自分より成長を感じることもできました。今回の体験を通して、中学でもより勉強ができるように習慣づけたいと思います。

2月の受験がスタートしてから、なかなか合格が取れず苦戦していました。不合格の結果を見るたび、本人はもちろん親も落ちこみました。絶対あきらめないという気持ちを持ち続けて入試に挑み合格を手にできたのは本人の強さだったと思います。第一志望に合格できなかったけれど、はあると思いますが、この気持ちをバネにさらに成長していくことと母親として願っています。

ぼくは5年生の三学期の10月にユリウスに通い始めました。その理由は、苦手だった国語の記述を克服するためです。一問一問いかりと分かるまで先生に教えてもらいました。ぼくの第一志望校は城北中学校で、記述が非常に多い学校でした。

なので、6年生の後半からは過去問の第一回と第二回を10年分、計20回やりました。

20回分解き終わると、再び「記述」のみをもう一周しました。解いている時はとても苦しかったです。そのおかげもあって見事合格を勝ち取る事が出来ました。

今まで色々な事を教えてくださった先生たちに、心から感謝しています。

私は、算数が苦手だったのでユリウスに通い始めました。第一志望の算数の点数がなかなか伸びず、このままだと、合格ができないなと思っていました。ユリウスに通い始めたのは6年生の10月下旬だったので本当に受験までに間に合うのかなと少し心配でした。ですがユリウスの先生方が私の算数で苦手なところを補強してくれたおかげで、第一志望校の算数がだんだん解けるようになり点数も少しずつ上がっていきました。そしてむかえた、2月1日。私はきん張しないように、「ここは第二志望校だ」と思いながら受けました。その日の第一志望校は不合格でしたが、午後に受けた第二志望校は合格したので、2月2日はとくに落ちこまずに受けることができました。そして、2月2日に第一志望の学校の入試会場に着いた時は、ユリウスや日能石研の先生方からもらったメッセージを見て、「私ならいける!」という気持ちで、入試に臨みました。結果は合格。おと行きたかった学校に進学することができるので、とてもうれしかったです。ユリウスの先生の方々、本当にありがとうございました!!!

私がユリウスに入塾したのは、5年生の前期の頃でした。私は勉強があまり好きではなく、また、その頃は受験生という自覚がなかったのもあり、しっかり勉強に向き合っていませんでした。特に国語が苦手で、苦手だから点が出ない→復習しても分からない→やりたくないからやらないのループでした。その流れを止めて、苦手でてもやるという習慣をつけたために私はユリウスに入塾しました。

その時、国語をユリウスでやり続け、講習中には、算数や理科も加えてやりました。5年の後期から「そろそろちゃんと勉強しないと」と思い始め、勉強し、算社理は済みのりていました。しかし、国語は一向にのびず、入試の1か月前ほどから、やっとできるよくなりました。そして、入試当日私はあまり緊張せず、それにはいつも以上の力を出すことができました。国語も自信がありました。そのようなことから、入試当日は緊張しすぎないことが大切だと分かりました。

新6年生でも新5年生でも、また入試まで時間はたくさんあるので、いまからやれば、入試まで、やればやるだけ成長します！入試が近づいて、不安になったとしても、最後まであきらめなければなんとかなります！つらいこと、めんどうなこと、たくさんあると思いますが、日々、今日はこれを覚えた！今日はこれを解けた！などの+を探してかまばってください！

私が受験勉強でよく気合をいれてがんばったのは
算数と理科です。理由は苦手だからです。

算数は公式を何も見ないでいえるように
なるまで、必死で覚えてから、ひたすら、栄冠をと
いたりして、少しずつ慣らしていきました。

他に買った教材は、今までのテストでまちがえ
たところをコピーしてファイルに貼った物をといたり
していました。受験当日の朝は簡単な問題
をといていきました。

理科は、生物しか得意ではなかったのに、
算数と両立させるのが難しかったです。

ユリウスでは地学 科学 物理など幅広い
分野を教えてもらっていました。

私のオススメの教材は予知識のまとめです。

説明のあとに簡単な問題があり、ワイズ感覚
で解けるところはメモリーネットワークではできな
い、と思っています。

大事にした方が「いい事か」二つあります。
一つは先生や指導者の話を本当によく
聞くこと。聞いた時は分からなくて
もあとから思い返すと言っていること
全部、ためになるようなことを言っ
てくれます。

もう一つは、切り替えを上手にすること。
一つのことをやっている時に違うこと
も考えていると結局両方本気で
なくなってしまう。以前、音楽のレッスンの
先生に「楽器を弾いている時違う所が
重かいていると頭の半分は、弾く事意外に使
っている」言われました。その時は、納得で
きなかつたけれど、今は本当にそのとおり
だ」と思います。

テストの復習に真けんに取り組めるようにするため、入塾しました。志望校は小学五年生のとき、何度も見学に行き、自分の実力とも合っていたことから決定しました。寝る前の30分は必ず勉強し、寝る前と朝起きてから、同じことを2回やるという勉強法はとても効果的です。特に点数がのびなやんでいる教科や再確認しておきたいところをやると、すぐに定着します。入試が近づいてくるにつれてあれもこれもやらなきゃと思うようになり、きんちょうや心配、あせりがでてきました。当日は受験のことを深く考えず、リラックスして自分ならできると思って入試に取り組んでください。

私は中学受験に向けて、ユリウスで勉強してきました。大変なことも
ありましたが、応援して下さい、た先生方や家族のみんな、一緒
に勉強を頑張った友達のおかげで乗り越えられ、無事に第
一志望に合格できました。ありがとうございます。先生は、わかり
やすく、そしてわからないところを徹底的に、わかるまで教えて
くださいました。また、つかれた時や何かあ、た時には雑談にの
ってくれて、悩みなんかも聞いて下さいました。それが楽しく、とても励み
になり、続けられたさ、かけにもな、たかもしれません。毎週、何かがあ
ると、「ユリウスで話したい!」と毎回思います。(大体話し忘れるので
すが…笑)とにかく、楽しくわかりやすく教えて下さりありがとうございます!
後輩受験生たちに言いたいのは、「自信を持ち、緊張しない
ことを心がけてほしい」ということです。緊張してしまうと、解
ける問題が解けなくなってしまうからです。「今までの努力が…^(汗)と
ならないようにしてほしいです。あと、「チャンスがあるなら必ずや、て
ほしい」と思います。合格する可能性があがるからです。これら2
つは実際に経験した話なので、この2つは本当に意識した方
がいいです。私も二度目で合格したし、全然緊張しなかつたヨ!!
とにかくがんばって!!長くなってすみません。ありがとうございました。

普段

私は、理科のところが苦手で、でも自分の志望校に毎年
でてるからがんばろうという気持ちで、過去問を1回
だけではなくくりかえし解くことで身に付くから、そこ
が、車は、きれいな人が多いと思うけれど、くりかえ
しといてみてほしいなと思います。また、入試が
近づいてきていた時は、やっぱりきんちょうしていて、
当日の方がもっときんちょうしていました。でも、そのき
んちょうに打ち勝つためにも自信を持って入試を
受けてきてほしいと思います。私は、すべり止めとして
受けた所以外全部落ちてしまったけれど、そのすべり止
めの学校もやっぱり受かる、絶対受かるとやるという
気持ちを持って受けたら合格できたので、そういう
前向きな気持ちで本番をおかえてください。中学受験は
、初めての受験だから、きんちょうしているかもしれないけれど、
自分の行きたい学校に受かるのは、とてもうれしいし、そこに
たどり着くためにも、新6年生の皆さん、入試までの約1年間
大変なこともあると思うけれど、大丈夫です。全力でがんばってく
ださい。心から応援しています。

私は、算数の成績が伸びないのでユリウツに入りました。入る前の時は算数が苦手と嫌いだっただので1時間30分ずっと算数を解くのはきついなと思ったのですが、入って見たら、そうではなく、楽しく出たし、をわいぞ、自習して帰ろうと思えるほど、長が楽でした。私はその後理科の授業も受ける事になったのですが、理科も、私は物理が苦手だったので、先生と練習したりコツを見つけて、実践するなどをしてみたら、物理ができるようになり、実際入試問題に出てきた物理はスラスラ解けるようになりました。私は3年生から日能研に通っていたのですが、いつも一番下のクラスでクラスの中でも下のような成績だったので、それでもねばり強くあきらめずにやってきたので、志望校に合格できました。なので、受験生の方もねばり強くあきらめずがんばってください応援しています！

6年の12月の公開もしでも、人さちが上がるず、やばい
いと思ひ、最後の月ぐらゐ算^算数の計算ミスなどを減らす
ため字をきれいに書くようにしたり、計算の余白を考へて書く
ようにしたり、社会のれき史を中心にあんきをい、は^い
した。三葉字なども前よりきれいに書くように意^意識をした。
最後まであきらめなくてよかった。最後まであきらめない
のが大切なのだと思つた。

日能研の制度が女子き(おちか、たため、こち
らにと喜^喜んだ。最後のおいにみでコツコツと勉^勉
強をした。最初のうちは勉強習慣がつか^{つか}なかつた
が、自分の目標も意識する:とで乗り越えた。
年代がのっている単語やおほ^{おほ}えられるようなもの
は単語中長にまとめて日音^{日音}記した。10月くらゐに
兄が休^休んでいると23²³に行きた^行いと思^思つた。不
安ではあつたけれど、心を^心おちつかせて人^人試
にそなへた。新しいスタートという中学校
の合格。みんなさ^さんちよ^{ちよ}こしているから、心を
おちつかせて、力を発^発揮しよう。いつか支^支えて
くれること^{こと}とこれ^{これ}とありが^{ありが}たう^{たう}に^にな^なりました。

僕はこの中学入試を通してたくさんのごとを学びました。その中でも受験生の方に伝えたいことが2つあります。まず1つ目は授業です。ユウスの授業(指導時間)はとても貴重な時間です。保護者が節のためにはらてくれたお金で成立している時間です。保護者に感謝し、集中して授業に参加しましょう。でも、人間本気で集中できるのは、せいせい30分程度です。授業90分をフルで集中することはほとんどの人ができません。ゲームやスマホなどの中毒性のあるものでなく。肩回しや、首回しなどの休めをとって下さい。授業を集中して受ければ、家庭学習はスムーズにすることが可能です。ですが、授業を集中せず理解がいてると、いつかは分かりませんか。つけかまあって、自分が困ります。それかもうておくれないように注意してください。2つ目は、健康です。僕は1月30日に旧型コロナにかかりました。とてもつらかつたて若どんどん悪化し、第志望校をあきらめました。とてもつらかつたてです。みなさんにはそのような思いをせず、第志望校に合格してほしいので、くれぐれも気をつけてください。最後に通う小学校についてです。僕は受験期にあてもできるだけ学校に行てほしいと思います。人はいくつ勉強が好きでもストリスかたまり自分つらくなつてしまいます。また、学校でインキがたりかちて若これに体験記は終わりますが、受験勉強がはってってください!!

努力はかならず実ります。がんばり
算数をおしえてください。

ありがとうございます。(先生)

新六年生のみなさんへ 10月から過去
問が始まりますので入試に備えてく
ださい。

私は、ユリウスの授業の中で特に過去問完成講座
が役に立った、と感じました。とても大変ですが、長い
時間やるので、体力向上につながったり、過去問を徹
底的にや、てくださるので傾向と解設が、とても身
につくからです。また分からない問題があったら先
生に分かるまで質問して下さい。全てに対して、
見直しにしっかりと時間をかけることが一番大切
だということを実感しました。今は辛いかもしれませんが、
合格したときの喜びは、とても大きいです。
自信をもってやり通しましょう！応援しています！！

ぼくがエリウス大井町教室に

入ったのは6年生のゴールデンウィークでした。

最初は勉強するのは好きではなす少しかのびませんでした。

しかし、夏期講習になり親に毎日、自習に行かせられて自習をして授業を受けるというのをしているとき夏期講習より前より急に点数があがりました。

点数が大きくあがると自分もうれしいので今度は親に行かせられるのではなく自分から行きたいと思いはじめました。夏期講習が終わり9月・10月にまた成績が

あがりました。12月くらいからぼくは計算式を指摘されたからそれをなおすために百マス計算をしたり計算の過程を見直す工夫をはじめたり、メモリーチェックにマーカーで大切なところ

に糸をひいたり基本の部分を完璧にしたい夏期講習の自分にうらやまを感じたり思いはじめました。

入試を受け4年生のころに11つもっていた偏差値も20くらい違ってくるようになりました。その20の成長は勉強科目への関心と姿勢

からきたと自分もちとエリウスと日能研の先生のおかげです。

受験の1か月前が一番自分はそわそわしていったと思います。

なぜなら、自分の偏差値が目標にぜんぜん届いていなくて、「このままだと受験、落ちるかもしれない」と焦っていた時期だったからです。

逆に、受験当日はぜんぜん緊張はしなかったです。

なぜなら荷物を準備するときは旅行気分、入試を受けるときはいつものテスト気分♪と逆に楽な気分で行った方が、安心してミスなく終われると思ったからです。

1回目で合格したときは、不思議であまりおどろかなかったです。

自分の中でも、もっとおどろいたり、喜んだりすると思っていたのに、その時は冷静に対処していました。

本当は、東京の学校も受ける予定でしたが、辞めて、1月の受験で終わりにしました。また、2月の受験もある!と思えて気を張っていたのが一気になくなり、同時に合格した喜びが嬉しさが分かってきて、今度は思う存分喜んで、泣いて、やっと合格をつかみ取ったんだという実感がわいてきました。合格の喜びが嬉しさが分かった気がしました。

本当に合格できて良かったし、この受験という大切な経験馬車を忘れずに記憶に残した11と思いました。

ぼくがユリウスに入ったのは、6年生の夏休みからでした。もと成績を上げたいのと、志望校に合格したいと思っただからです。

ぼくがかんはったことは、朝早く起きて漢字や計算を毎日やりました。それから、ユリウスの授業が始まる前に行って自習をして、授業が終わったあとも自習をしました。

苦戦したことは、休けいの時にスマホを見てしまったり、ねるのおそくなって朝起きるのが辛い時もありました。

志望校を決めた時其月は、とてもおそく、ぼくにとっては、チャレンジ校だったけど合格したから過去問を何度もやって分析、出そうな問題をテキストなどからえらんで解いたり、言十算問題も集中的にやりました。国語は、漢字、慣用句、四字熟語を一生けん命やりました。

入試を通過してぼくは、かんはれば結果が出るということを知りました。辛かったけど最後まであきらめないでよかったです。

いよいよです。

担当の先生は、ぼくにたくさんの宿題を出してくれて、それをかんはってこなし、いつもていねいにやさしく分かりやすく教えてくれました。

先生のアドバイスで合格できました。

本当にありがとうございました。

中学生になったら勉強も部活もかんはって、入試で学んだことを生かして努力していきたいです。